

# 第3回 紫波町総合計画審議会

日時 令和6年1月16日(火) 10時00分～12時00分  
場所 紫波町役場 3階 会議室 301～303

## 次 第

### 1 開 会

### 2 町長あいさつ

### 3 会長あいさつ

### 4 会議成立報告

### 5 議 事

(1) 審議会のご意見に対する対応方針について 資料1-1、1-2※事前送付済

(2) 意見公募（パブリックコメント）の結果について 資料2

(3) 後期基本計画（原案）について 資料3

(4) 答申案の協議について 資料4

### 6 その他

今後の予定

・第4回審議会（答申、最終回）：1月29日（月）午後1時30分から 紫波町役場

### 7 閉 会

### 第3回 紫波町総合計画審議会 出席者名簿

令和6年1月16日(火) 10時00分～12時00分  
紫波町役場 3階 会議室301～303

#### 【委員】

(五十音順)

氏名	所属等	備考
浅沼清一	岩手中央農業協同組合 代表理事組合長	
阿部敏博	紫波町行政区長協議会 会長	
阿部久克	紫波町消防団 団長	
阿部萬太郎	農業	◎会長
阿部礼子	特定非営利活動法人紫波みらい研究所 理事長	【欠席】
太田幸市	紫波町交通指導隊 副隊長	
小川哲男	一般財団法人紫波町体育協会 会長	【欠席】
小澤由香里	紫波町食生活改善推進員協議会 会長	【欠席】
加藤博巳	一般社団法人紫波郡医師会 副会長	【欠席】
菊地圭二	特定非営利活動法人紫波ing 理事	○副会長
木戸章子	宿はこや 責任者	
近藤英一	社会福祉法人紫波町社会福祉協議会 会長	
佐々木 勉	紫波町PTA連合会 会長	
佐藤謙司	紫波町校長会 会長(西の杜小学校 校長)	
菅原和博	紫波町農林公社 森林循環アドバイザー	
高橋栄悦	一般社団法人紫波町観光交流協会 会長	
高橋哲也	南日詰大神楽保存会 事務局	
高橋吉見	紫波町防犯隊 隊長	
橋 富雄	紫波町商工会 会長	
戸塚美奈子	虹の保育園 園長	
富岡敦子	紫波町連合婦人会 会長	
七木田吉明	紫波電設有限会社 専務	
檜山雄介	しわりり 副代表	
松田竜也	岩手農蚕株式会社 取締役部長	
役重真喜子	岩手県立大学総合政策学部 准教授	

#### 【紫波町】

町長	熊谷 泉
副町長	藤原博 視
生活部長	中田秀 男
産業部長	長谷川 崇
建設部長	谷地 和也
教育部長	阿部 薫之

#### 事務局

企画総務部長	鎌田千 市
企画課長	小川 篤
企画課副課長	森川高 博

第3回紫波町総合計画審議会 会議録

1 開催日時・場所： 令和6年1月16日（火）10時00分～12時15分 紫波町役場3階 会議室301～303

2 出席者： 別紙出席者名簿のとおり

- 3 議事： (1) 審議会のご意見に対する対応方針について  
 (2) 意見公募（パブリックコメント）の結果について  
 (3) 後期基本計画（原案）について  
 (4) 答申案の協議について

4 議事における委員からのご意見等（概要）

ご意見等（概要）	町の対応・回答
<b>(1) 審議会意見に対する対応方針について</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 資料1-2の私の発言部分（第2回）で「東京から長岡に来た人から・・・言われた」と記載があるが、正しくは「東京から長岡に来た人に、「東京にいた頃は、子どもたちが集まるとゲームばかりしているのか」と尋ねたところ・・・」であるので、訂正してほしい。</li> <li>● 人口ビジョンは何となく中央部の話のような気がしてならない。人が足りないところ（人口が減っている地域）、中央部以外で人口が増える要素はあるのか。</li> </ul>	<p>ご指摘のように訂正します。</p> <p>東西地域の人口を増やすのはなかなか難しい部分があるが、減少幅を抑える、農村ならではの魅力を発信しながら、中央部だけでなく東西にも目が向くように、各分野で検討していかなければならないと考えています。</p>

ご意見等（概要）	町の対応・回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 長岡地区ではノウル（プロジェクト）で色々な人が入ってくる。（農村部は）家を建てないと人口が増えない。物理的に家を建てるとか、そうしたことも考えたほうが良いのではないかと。1軒でも2軒でも家が建てられるようにしたい。</li> </ul>	<p>宅地造成は、農業振興地域に入っている地域では、（用途）変更がなかなか難しい部分もあります。民間の宅地造成のほかに、優良田園住宅という（制度を活用した）住宅開発（手法）もあるので、検討していきたいと思います。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2年ほど前にゼミの卒論の中で、紫波町をフィールドに地域間格差というテーマで研究したことがある。町から大量のデータを提供いただき分析したら、他の自治体に比べて自由意見の中に地域格差を指摘する声が多かったのが非常に印象に残っている。</li> <li>● 周辺部に人口を増やすとか新しい家を建てるというのはなかなか難しいことだと思う。道路や水道などのインフラ整備も今後は限界が出てくるのは当然のこと。それに代わる「新しいインフラ」の発想が必要で、インターネット環境や公共交通だと思う。</li> <li>● 紫波の場合は、色々な地域の方からデジタルの利用格差ということも耳にすることもあり、大容量の情報通信基盤が町全体に行き渡っていることが最低限必要。それだけでなく、高齢者などが集会所や公民館で（デジタルについて）学ぶデジタルデバイドの解消についても、総合計画でしっかりと位置付けていくことが必要と思う。</li> <li>● 公共交通は縦（交通だけ）の世界ではなく、まちづくり・地域づくり、いろいろな市民活動を含めて、今ある公共交通を生かす・活用する横の取組がとても大事だと思う。例えば、バスの便数を増やすのは難しいと思うので、バスの時刻に合わせて会議や事業を展開していくとか。人口減少していく周辺地域は住めば住むだけ不便だということになってしまうので、そうしたところに力を入れていただきたいと思った。</li> <li>● 住宅の話が出たが、（農村地域では）住宅団地の開発があまりできないとすれば、空き家や空き家の候補について、それをどう活用できるか。西日本では本格的に進んでいるが、岩手はまだまだ遅れていると思う。そうしたこともポイントだと思う。</li> </ul>	<p>地域情報化や広聴広報分野の施策推進において、ご意見をふまえて取り組んでまいります。</p> <p>公共交通分野はもとより、各分野での事業構築においても、ご意見を参考にさせていただきます。</p> <p>空き家対策や農村地域への移住定住推進の面などで参考にさせていただきます。</p>

ご意見等（概要）	町の対応・回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 私は水分地区に住んでいるが、高校生の子ども2人がしわまる号を利用している。上にもう2人子どもがいるが、その子たちの時代にはしわまる号がなく、その時と比べると、自分の送迎負担が減ってとても楽になったと思う。そう考えたときに、これ（しわまる号）を利用して小中高生が巣立った時に、自分の地域にはこのようなインフラがあるんだということで、地元に戻ってきて、子育てができるということも考えられるのではないかと思う。</li> <li>● 就職してもあえて西部や東部地域に住もうという人たちが増えるためには、こうした公共交通のインフラは大事だと思う。計画上はこれで良いと思うが、根底のところ、東西と中央の利便性（格差）の解消という視点をもって、運用していただけるとよい。</li> </ul>	<p>公共交通施策の推進において、ご意見を参考に取組んでまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東西の格差のような話が出ているが、東西とはどこが境目か。たぶん、東側との境目は北上川、西側との境目は東北本線。都市が栄えるにあたり人の流れをせき止めてしまうのは、橋、線路、4車線以上の道路である。そこで町の色がガラッと変わる。そうした物理的な川、道路、線路というものを何とかしなければその流れは変わらないのではないか。ただ単に東や西というのではなく、その境目はどこで、なにがどのようになって、それがどうなのかということをもう1回見極めるべきではないかと思う。</li> </ul>	<p>総合計画のみならず、各分野別計画においても、ご意見を参考に検討してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 私の住む地域も北上川を挟んで100～200mのところである。お店はほとんどなくなってしまった。地価は川を挟んだだけで安くなっているというのは、交通の利便性だけではない、何かがあるのかと感じる。橋を渡っただけで、役場に来るのに5～6分もかからないところだが、民間デベロッパーは向いてくれない。川がある、橋が少ないということがあるのかもしれない。その他にも、人の心、あっちは田舎、こっちは都会というのがあるのではないか。そういう区分けをする、人の心の中は複雑なものがあるのだろうと感じている。</li> </ul>	<p>総合計画のみならず、各分野別計画においても、ご意見を参考にいたします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 役場が考える「観光」とはどこまでなのか。</li> </ul>	<p>ラ・フランス温泉館周辺や城山公園のほか、宿はこやさんのようなところも観光地と捉えています。また、私たちの通常の暮らしそのものも観光コンテンツになり得ると考えています。</p>

ご意見等（概要）	町の対応・回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 志和稲荷神社には今年も 12～13 万人が来ている。これをそのまま返すのはもったいない。温泉の特典などを設けてはどうか。また、(ラ・フランス温泉にある) 遊歩道が水分神社など周辺につながるともっと人が来るのではないか。</li> </ul>	<p>観光施策において、ご意見を参考にいたします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 紫波町はWe b 3 分野など新しい技術や取組を積極的にやっている印象を受けるが、そうしたことの記載は必要ないのか。</li> </ul>	<p>当日回答済み（企画課） →ご指摘のとおり追記します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 町が使っているプッシュ型通知のアプリとはどんなものがあるのか。</li> <li>● 町からの情報は、都度ホームページを見てくださいというよりは、新型コロナワクチンの情報発信で使っている町の L I N E のほうが、町民への情報発信ツールとして使いやすいのではないか。ツールの使い方をしっかりして運用してほしい。</li> </ul>	<p>当日回答済み（企画課） → L I N E をベースに再構築を検討中です。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人との距離感、住みやすい町ではあるが、町の運営上、収入源になるような工業団地や企業誘致の面は、人口減少が進む中で大丈夫なのか。税金を確保しながら町を健全に発展させていく面では、もう少し、産業振興の中の企業誘致というのも考えていいのではないか。</li> </ul>	<p><b>【答申（附帯意見）へ反映】</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタルが先行し、目で見える情報ばかりである。耳から入る情報、アナログ的なつながりが欲しい。昔の有線放送みたいに、耳から入る情報があってもいいのではないか。</li> </ul>	<p>情報発信施策で検討してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人口減少が話題になっているが、人口減少自体が課題ではないと思う。人口減少という現象に対して、現在見えている状態と、人口が減っていったときにギャップがどれくらいあるかというのが課題になってくると思う。人口全体の話はあるかと思うが、それよりも、生産年齢人口の減少幅のほうが大きいことで農業や商工業の担い手が減っていくことが課題なのではないか。各施策の現状と課題の把握のところ、どれくらいそのギャップがあるかがうまく表現されていないので、計画を見る人が不安になったりするのではないかと感じた。例えば、農業だと、担い手が減っているという表現はあるが、どれくらい減っていくのか、将来に対して今のままだとどれくらい不足するのか、などが出てくると、それへの対応策として集積化や大規模農業だけでは対応しきれないので家族農業も大事にしよう、というような作戦とつながってくるのではないかと思う。</li> </ul>	<p><b>【答申（附帯意見）へ反映】</b></p>

ご意見等（概要）	町の対応・回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人口ビジョンの見直しと検討するとあるが、人口が変化する中でのビジョンの見直しはなかなか難しいのではないかと思う。人口減少に対する具体的なプロジェクトは総合戦略だと思うので、人口ビジョンの見直しというよりも、総合戦略を見直して対応していくという表現の方がよいのではないか。</li> <li>● 分野別政策【章】、基本施策【節】、施策の項目【項】とあるが、今までは「〇〇します」なので良かったが、今回から「〇〇な状態を目指す」に変えたということだったので、項目の表現が合わないのではないか。</li> </ul>	<p>当日回答済み →ご指摘通り、「総合戦略の見直し」とします。</p> <p>当日回答済み →適切な項目名称に見直します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 計画は運用の在り方だと思う。計画をつくと大概、皆安心してしまい、棚に飾ってしまうが、この審議会で議論されたことを、どのように町民にお知らせし、それに関してまたご意見をいただくという場をどう作っていくか、ということではないか。</li> <li>● 観光のことなど細かな話が出たが、非常に大事な部分だと思う。そのようなレベルのお話が出たときに、この計画で取り上げるレベルではないとしてしまうのではなく、運用していくときに、ここで出た意見をどうしていくかということ、みんなでチェックしていけるような、それが本来の計画のPDCAだと思う。指標の数字が達成したか否かのようなことを機械的にチェックするという作業になりがちだが、あまり意味がないと思う。</li> <li>● 紫波町は市民協働の事業も進めているので、その中で落とし込んでいくとか埋め込んでいくとか、そういう作業を是非していただきたいと思う。そうした意味で、皆さんが発言されたことをぜひ、一つひとつ大事にしていきたい。</li> </ul>	<p><b>【答申（附帯意見）へ反映】</b></p>

ご意見等（概要）	町の対応・回答
<p><b>（４）答申案の協議について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新聞等を見ると戦争や震災の記事が載っている。我々が想像もしないような大きな動き・災害が出てきている。こうした災害等があると第一は町民の安全・安心だと思う。（まちづくりの）計画は計画としてあったとしても、それ以上のもの（災害等）がでてくるので、それに対応するような柔軟な、大きな解決策を持っていなければならない。          なので、令和2年2月の答申の2の部分は、この計画の中の基本的な考え方として入れてほしい。</li> </ul> <p>【参考：令和2年2月答申 別紙】</p> <p>2 私たちの予想をはるかに超える災害が起こりうる環境の中で、町民、行政がどのようにそのリスクに対応していくのか十分に留意しながらまちづくりを進められたい。</p>	<p>【答申（附帯意見）へ反映】</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 総合計画は夢を語るものが大きく一つあって、それを進めるための足かせになっているのが人口減少ではないか。その解決策は何かということについて、第1回審議会で他の委員から意見のあった分野横断的な要素が入っていると良いと思う。</li> <li>● 10年後を想像したときに今必要なものは何かという視点が書かれているとか、担い手問題を解決するためにどのようなものが欲しいかが各領域にあるとよいのではないか。</li> <li>● 町の魅力発信が非常に重要。小学校で学んでいると、オガールの施設充実や、サッカー、バレーボール、自転車等、スポーツ関係で人を引き寄せるような魅力発信というのも必要ではないか。</li> <li>● それを支えていくのは10年後の子どもたちなので、人づくりが非常に重要。今気になるのが全国的な不登校の増加。町でも増えている。</li> <li>● 子どもたちには物事を乗り越える力や、頑張ることによって成長していくことができるということを身に着けられるよう、学校でも一生懸命やっている。</li> </ul>	<p>【答申（附帯意見）へ反映】</p> <p>分野別計画や具体施策の構築において、ご意見を参考に取り組んでまいります。</p> <p>スポーツがもたらす効果を様々な分野で活用できるよう、検討してまいります。</p> <p>教育施策において、ご意見も参考に組み込んでまいります。</p>

ご意見等（概要）	町の対応・回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成 28 年 2 月の答申の 12 番にあるスポーツ指導者の確保と育成に向けた支援、これは中学校の部活に向けても必要なことだと思う。そのスポーツで（町を）盛り上げるという視点があっても良いのではないか。</li> <li>● I C T 関係のことも記されても良いのではないか。</li> </ul>	<p>スポーツ施策やスポーツを活用したまちづくりにおいて、ご意見を参考に組み込んでまいります。</p> <p>I C T の活用は各施策を推進する手段の一つとして適切に取り入れてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 役場や商店街の人たちでもいろいろ協議しているが、やはり若い人たちが不足している。現在の商工会青年部は活発に活動してくれており非常に助かっている。空き店舗や空き家の全体把握、これをどうしていくのかについて商店街の方々も含めて、新しい考え方で進めていきたい。</li> </ul>	<p>産業施策において、ご意見も参考に組み込んでまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 答申の中にバリアフリーという項目を入れていただきたい。平成 28 年 2 月の答申の 2 番に、目や耳に障がいを持った人にも配慮して、公共施設のバリアフリー化の推進に努められたいというものがあった。今の時代は特に「医療的ケアが必要な人」への対応もある。公共交通のバリアフリー化の推進のところに、目や耳に障がいを持った人に加えて、医療的ケアが必要な人を入れていただきたい。</li> </ul>	<p><b>【答申（附帯意見）へ反映】</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成 28 年 2 月の答申の 10 番の内容に共感している。子育て教育については、私ども保育士が子どもをひとりの人間として尊重して、その命を守って、その情緒の安定を図って、乳幼児期に相応しい経験を積み重ねていくことによって、それを家庭に発信して、家庭教育の支援というところにつながっていくのではないかと思った。</li> </ul> <p>そして、様々な立場の組織、人の協働というところでは、多職種の方々と一緒に課題解決にあたっていけば、保育園・幼稚園から小学校へとつながっていくと思っているので、家庭と一緒に手を携えながら進めていきたいと、この 10 番を読んで改めて感じた。</p>	<p>子育て施策の展開にあたって意識してまいります。</p>

ご意見等（概要）	町の対応・回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光について、先ほど産業部長さんが大きな視点で紫波町を見たいとおっしゃったが、欧米から我が宿にくるお客様は何をするわけでもなくただ宿にいる（滞在している）方がいて、「紫波町はピースフル（平和）だ」とおっしゃる。忙しく日本を旅してきて、その後、数日穏やかに過ごすには最適な町だと言っている。また、我が宿では高速通信を入れているので、カナダからのお客様は宿から仕事をしていたこともあるし、音楽グループは1週間の滞在中、毎日ライブ配信して商売をしていた。</li> <li>● そういうこともあるので、私からしてみれば観光地はいらないと感じる。この平和な風景と美味しいものが何よりも魅力ではないか。ラ・フランス温泉から見れば本当にきれいな田んぼが広がって、東側（東部地域）に行けば起伏があるところに綺麗な果樹園、ぶどう畑やリンゴ畑が広がっている。こういうものも、本当に広い意味で観光資源ではないか。それを守るような施策を考えていただけたら良い。</li> <li>● 空き家についても、断熱改修などのノウハウや補助金など支援にあわせて、何かの組織が借り手と貸し手の間に入って、最初は試験的に貸すけれど、お試し期間が終わったら譲渡しても良いとか、借り手も貸し手もわかりやすいシステムがあるとよいのではないか。デジタル化が進む世の中で、そこにいながら仕事ができる人も増えてきているので、そのようなかたちで空き家対策も進んでいけばよいと思う。</li> </ul>	<p>【答申（附帯意見）へ反映】</p> <p>空き家対策や活用に参考にしてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 町消防団としては、町の安心安全、町民の皆さんの生命・財産・身体を守ることが一番の基本である。そのためには消防団員の確保、定数 604 人に対して現在は 490 人を切っているような状態。大きな災害が重なると消防署だけでは対応できないのが現状であるので、やはり、消防団員の確保が一番大事だと思っている。</li> <li>● 役場職員でも消防団に入っている職員がいるが、できれば、新人職員には1年間体験していただき、良いなど思ってくれたら各地域の消防団に入ってほしいというのが希望である。</li> </ul>	<p>消防団員の確保に一層取り組んでまいります。</p> <p>消防の取組においてご意見を参考にさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特に継ぎ足すことはないが、平成 28 年 2 月の答申の 14 番、「まちづくりの取組が町民に理解され、町全体の魅力向上に努める」、この一言に尽きるではないかと思うので、この界限を盛り上げられるようお願いしたい。</li> </ul>	<p>答申の各意見に反映いたします。</p>

ご意見等（概要）	町の対応・回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 先ほどから人口減少について、中央部は人口が多いから有利だとみんなが受け止めていて、西部と東部は不便なところとか、マイナスな感情が話されているようだが、大人がそう思って話していることは、子どもたちやこれからの人（次代を担う人）たちにも「自分たちは不便なところに住んでいる」という感覚が自分の中、底辺にあると思うので、（地元）に帰ってきて頑張ろうという気持ちにつながりにくいのではないかと。</li> <li>● 大人やいろいろな人たちがそれぞれに誇りを持ち、そこが好きだという誇りを持って生活していれば、その子どもたちも血が騒いで（地元）に帰ってきたり、そこが大好きだという感じを持って育つことができると思う。</li> <li>● なので、地元で誇りを持てるそれぞれの感じ方や生き方をさせていただいたら、子どもたちがいつかは地元に戻ってくる状況が少しはプラスに方向になるのではないかと。そうした見えないところ、下地の部分でそれぞれが意識していただければ、良い方向に行けるのではないかと。</li> <li>● 役場職員は町民が（役場に）来た時、みんなパソコンで下を向いているが、笑顔で接していただければ、それぞれが楽しく仕事をこなしていくのを見ていけば、町民も「この町は大丈夫」と誇りを持てると思うので、各自1つずつ考えていただけたらと感じている。</li> </ul>	<p>【答申（附帯意見）へ反映】</p> <p>住民対応における役場職員の心構えとしてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● スポーツ施設が老朽化している。メイン施設は45年以上たっていて修繕費も多くかかっている。100年の計というのは少し長すぎるが、10年程度の構想をもってスポーツに関する施設の充実、町民の活性化にもつながるのではないかと。予算のこともあり大変だと思うが、スポーツで健康維持、長寿、そして医療費に負担をかけないよう、スポーツによってよい人生を送れる町にしていきたいという気持ちでいるので、今後スポーツ施設に関して検討をしていただきたい。</li> </ul>	<p>スポーツ施設の維持や改修において、ご意見を参考にしております。また、スポーツがもたらす効果を様々な分野で活用できるように、検討してまいります。</p>